



学校だより 12 月

“桜川 学びのエリア : 桜川中・桜川小”

令和7年11月28日
板橋区立桜川小学校
No.8



10年後の桜川小を語ろう



副校長 海沼 秀樹

11月15日(土)に、今年度第4回目となるコミュニティ・スクール委員会(CS委員会)が開催されました。今回は、創立70周年を迎えた本校が、今後どのような学校を目指していくべきか、「10年後の桜川小を語ろう」というテーマのもと、熟議を行いました。また、事前に6年生児童にも同じテーマで考えてもらった意見も紹介し、未来の桜川小学校の姿について、熟議を行いました。その主な内容は以下の通りです。

1. 目指す子ども像

10年後、桜川小学校を巣立っていく子どもたちには、社会で自立し活躍できる力を身に付けてほしいという思いが共有され、次のような意見が出ました。

- ・助け合える子ども ・挨拶のできる子ども ・多様な意見を尊重し合える子ども
- ・自己肯定感をもてる子ども ・一人ひとりが自立し、自分の意見を言える子ども

2. 学習・教育活動の充実

学びの質を高め、教育活動を充実させるためのご意見も多く出されました。

- ・自分で学びたいことを選択できる学習の実現 ・福祉教育の充実 ・ボランティア活動の充実
- ・子ども同士のコミュニケーションや教え合いを重視した授業の推進 ・体験学習の充実

3. 学校の環境・食と健康

子どもたちも教職員も安心して過ごせる環境づくりも大切だというご意見をいただきました。

- ・安心、安全な学校 ・給食がおいしく、体も心も健やかに成長できる学校 ・自然あふれる学校
- ・子どもも先生も笑顔の学校 ・大切なことを教えてくれる学校 ・みんなに居場所がある学校

4. 地域との関わり・保幼小中連携

地域に愛され、開かれた学校を目指すために重要な視点も挙げられました。

- ・地域の中心となる学校、地域の人に愛され、地域の人たちが立ち寄りたくなる学校
- ・地域・保護者から信頼され、教職員が仕事を楽しめる学校 ・何世代もの人たちが学べる学校
- ・卒業しても認め、応援してくれる、心のよりどころとなる学校
- ・地域に貢献できる子どもを育てる学校 ・保幼小中の連携強化と中学校との交流の推進

◎6年生の主な意見

- ・全員が一体感をもって取り組める学校 ・いじめや差別のない、明るく楽しい学校
- ・みんな楽しく笑顔いっぱい何でも相談できる学校 ・伝統を受け継いでいる学校
- ・みんなの多様性を取り入れ、いろいろな考え方を認め合える学校 ・生き物や自然を大切にしている学校
- ・助け合い、教え合い、支え合える学校 ・もっとキャラクターが増えてほしい！

委員の皆様の本校の未来を深く見据えた貴重なご提言に感謝するとともに、6年生の「多様性の尊重」や「伝統の継承」など、これからの社会に必要な視点をもって学校のあり方を考えてくれたその思いに感動しました。70周年を新たな出発点とし、子どもたちのより良い成長のために、地域・保護者の皆様と連携し、魅力ある学校づくりに努めてまいります。今後も変わらぬご理解とご協力をお願いします。

◎お願い

・今後引っ越し等で転出の可能性が生じた場合、分かり次第学校まで速やかにお知らせください。どうぞよろしくお願いいたします。

◎研究発表会について

・12月19日(金)にいたばしの教育ビジョン研究奨励校発表を行います。桜川中学校と連携して進めてきた研究の一端を区内の先生方に見ていただきます。研究授業を行う学級は下校時刻が他学級と異なりますので、行事予定、学年便り等でご確認ください。